

## 2007年度第5回番組審議会議事録

1. 開催日時 2007年11月26日(月)16:00~17:00

2. 開催場所 弊社サブスタジオ

3. 委員の出席

3-1. 委員総数 8名

3-2. 出席委員 5名 萩尾利雄・高木邦子・木辻清子・山本幸男・澤田智恵子

3-3. 欠席委員 3名 為岡務・正岡健二・平川愛恵

補: 放送事業者側出席者 金千秋・平野由美子

4. 議事

4-1. 番組審議

第5回審議番組 11月6日(火)20:00~21:00 放送

「マイペンライ サバイサバイ ジャランジャラン ク インドネシア」

パーソナリティ: ケットさん・セブタさん

2007年11月から始まった毎月第1、3週の火曜日に放送するタイ語、インドネシア語、日本語による番組。

5. 議事の概要

5-1. 番組の基本コンセプトの説明後、審議を行う。

6. 審議内容

6-1. 欠席者の審議紹介

【為岡務委員長】

- ・ 各曲の音のバランス等が気になった。
- ・ 両者とも日本語が上手で感心した。また、母語の発音等が面白かった。
- ・ それぞれの出身国(歴史、経済等)に関心を持たしもっと知りたいと思った。

【正岡健二委員】

- ・ 音量、音質ともに概ね良好。ただ曲の出だしの音量はチェックしておくべきである。
- ・ ラジオトークとして概ね良好だが、通訳部分になると声が小さくなるのが気になる。
- ・ 初回として話の展開は良い。曲数を減らして母国の説明をもう少し入れた方がよい。
- ・ たどたどしい日本語がなぜか新鮮で好感が持てる。
- ・ 今後はテーマを絞って構成すると番組の特徴が鮮明に強調されると思われる。

6-2. 出席者の審議

【澤田智恵子委員】

- ・ 技術的なことは正岡委員、為岡委員と同様に感じた。
- ・ 中国系タイ人、インドネシア人のいろいろな違いが面白かった。

- ・ 音楽も耳馴染みがよく日本と近い感じがした。曲の説明があるのがよかった。

【萩尾利雄委員長代理】

- ・ 課題を多く感じた。誰をターゲットにして番組を作っているのか。  
リアルタイムで主にこの地域の人たちに聞いてほしいのなら全部日本語でやるべき。  
インターネットで出身国の人に聞いてもらうなら内容が変わってくるはず。

【木辻清子委員】

- ・ 話の内容にスッと入れた。ケットさんの日本語は聞き易かった。
- ・ 曲調が自分好みでよかった。

【山本幸男委員】

- ・ 音量はレベルを目で確認してほしい。選曲はよいと思う。
- ・ 日本語をもっと混ぜてほしい。
- ・ 番組としての視点はどこにあるのか。

【高木邦子委員】

- ・ セプタさんは一所懸命さ、真剣さが伝わってきた。
- ・ 日本と比較した経済の話題が面白かった。

【萩尾利雄委員長代理】

- ・ FMわいわいにはこの番組と同種のものが多いが、構成としてどこ、誰に向けて発信するからこの内容になるということを整理する必要がある。  
例えばその言語を解する人たちに情報を発信するなら別に番組を作ればいいし、またとことんインドネシアやタイのことを日本に紹介したいなら全部日本語にした方がよいと考える。そうでないと聞いてもらえない。

【放送事業者側出席者：金千秋】

- ・ その点は課題であると考えます。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

8. 審議内容の公表について

8-1. 公表内容 議事の内容

8-2. 公表方法

8-2-1. 自社放送 2007年12月15日(土)17:50~18:00 放送

8-2-2. 議事録の設置

8-2-3. ホームページに掲載予定

以上